

気候情報

2015年9月の日本の天候

- 気温は東・西日本で低かった
- 「平成27年9月関東・東北豪雨」が発生
- 北・東日本日本海側では日照時間は少なかった

9月の天気概況

月の初めから11日頃までは、東北地方から奄美地方にかけては、8月下旬から引き続いて、曇りや雨の日が多く気温の低い日が続いた。関東地方から東北地方では台風と南からの湿った空気の流入の影響で記録的な大雨になり、河川の氾濫など大きな被害が生じた(平成27年9月関東・東北豪雨)。その後は月末まで、本州付近は高気圧と低気圧や前線が交互に通過し、北・東・西日本では、概ね天気は数日の周期で変化した。沖縄地方では、月を通して高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。

月平均気温は、東・西日本では、上旬に前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、中旬に大陸から冷涼な空気が流れ込んだ影響で低く、西日本では上・中旬はかなり低かった。北日本と沖縄・奄美は、平年並だった。

上旬：低気圧や前線が日本付近を通過することが多く、東北地方から奄美地方にかけては、8月下旬から引き続いて曇りや雨の日が多く、低温となった。9日には台風第18号が上陸し、東日本太平洋側を中心に広い範囲で大雨となった。さらに、日本の東海上を台風第17号が北上した影響も加わって、関東地方から東北地方では南から湿った空気が長時間にわたって流れ込んだため、11日にかけて記録的な大雨となり、河川の氾濫など大きな被害が生じた(平成27年9月関東・東北豪雨)。

旬平均気温は、西日本でかなり低く、東日本では低かった。北日本と沖縄・奄美は平年並だった。

旬降水量は、北日本太平洋側と東日本ではかなり多く、北日本日本海側と西日本では多かった。沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本ではかなり少なく、北日本では少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

中旬：高気圧と低気圧が交互に通過し、北日本から東日本では天気は数日の周期で変化した。西日本中心に、大陸からの冷涼で乾いた高気圧に覆われた日が多く、東日本以西では低温となり、西日本ではかなり低かった。沖縄・奄美では高気圧に覆われて概ね晴れた。18日から19日にかけては台風第20号が小笠原諸島に接近して暴風雨となった。

旬平均気温は、西日本でかなり低く、東日本と沖縄・奄美では低かった。北日本は平年並だった。

旬降水量は、北日本太平洋側で多かった。一方、東日本日本海側と西日本、沖縄・奄美では少なかった。北日本日本海側と東日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、西日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側と西日本日本海側で多かった。北日本と東日本日本海側、沖縄・奄美では平年並だった。

下旬：本州付近を高気圧と低気圧が交互に通過し、北・東・西日本では天気は数日の周期で変わった。沖縄・奄美では、期間を通して概ね晴れたが、27日と28日は台風第21号が沖縄の南を北西に進んだため、先島諸島を中心に暴風雨となった。与那国島では、81.1 m/sの最大瞬間風速を記録し、1957年5月からの統計開始以来、最も大きい風速となった。

旬平均気温は、北・西日本と沖縄・奄美で高かった。東日本では平年並だった。

旬降水量は、北・東日本で少なく、西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、北・東日本と西日本日本海側で多く、西日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

9月の気候統計

月平均気温：東・西日本で低く、北日本と沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：東日本太平洋側でかなり多く、北日本太平洋側では多かった。一方、沖縄・奄美では少なく、北・東日本日本海側と西日本では平年並だった。

月間日照時間：北・東日本日本海側で少なかった。北・東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美では平年並だった。
(気象庁観測部情報管理室)

9月の記録(1位更新のみ)

・月降水量多い方から(mm)

千葉 403.5 父島 316.5

2015年9月の平年差(比)図

